

# ビル・マンションオーナーのための 老朽化建物の再生と実例

世界的に環境への関心が高まるなかで、  
建物もスクラップアンドビルド(建替え)から  
ストック(保存)の時代へと変化しています。  
日本の中小オフィスビルにおいては、  
配水管をはじめとした設備機器が小規模な  
改修で対応できる寿命が約20~30年のため、  
建物寿命も30年から40年といわれています。  
しかし、通常建物の躯体は  
さらに数十年間問題なく使用できます。  
これらをリノベーションして活用することで、  
新築と比べた場合のビルオーナーの費用負担軽減と、  
環境への対応を進めることができると考えられます。  
その再生手法を実例とあわせてセミナーを開催します。

## □ 開催日時

平成21年12月5日(土)

午後2時から4時頃まで(受付は1時半から)

## □ 会場

ひと・まち交流館 京都

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る  
梅湊町33番地の1(河原町五条下る東側)

### <交通>

市バス4, 17, 205号系統「河原町正面」下車  
京阪電車「清水五条」下車 徒歩8分  
地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩10分

## □ プログラム

○セミナー1:RCEMのビル再生手法

(株)RCEM 黒木 幹雄)

○セミナー2:事業計画から広告戦略まで

(株)RCEM 齊藤 誉征)

□ 参加人数:10名程度 参加費無料

## ◎ 参加申込

NPO法人 公共技術研究協会

ホームページ <http://npo-pita.org>より

電話: NPO法人 公共技術研究協会 0120-967-018

FAX: 075-634-3851 (参加者名と連絡先を書いてください)

□ 主催: NPO法人 公共技術研究協会 <http://npo-pita.org>

□ 共催: NPO法人 京都建物安全管理協会

□ 協力: 株式会社RCEM(ビル再生事業) <http://rcem.jp>

